

かほだより

PED 県内初発農場の現状

～引き続き、侵入防止とまん延防止対策へのご協力をお願いします～

昨年 5 月に管内安曇野市内の養豚場で発生した豚流行性下痢(以下「PED」という。)は、と畜場及び畜産関係者の一丸となった消毒の徹底等により、初発農場と隣接する農場の 2 戸での発生に留まり現在に至っています。

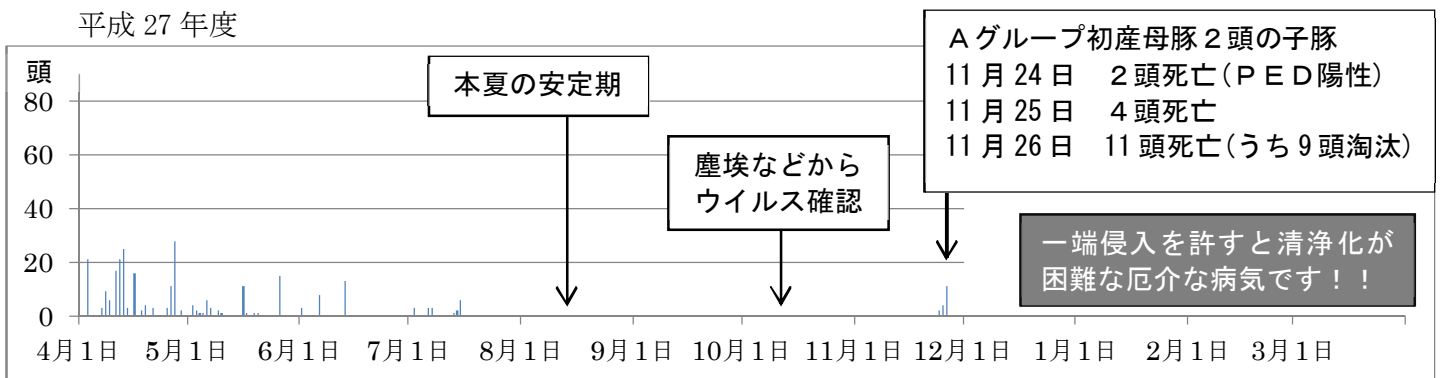
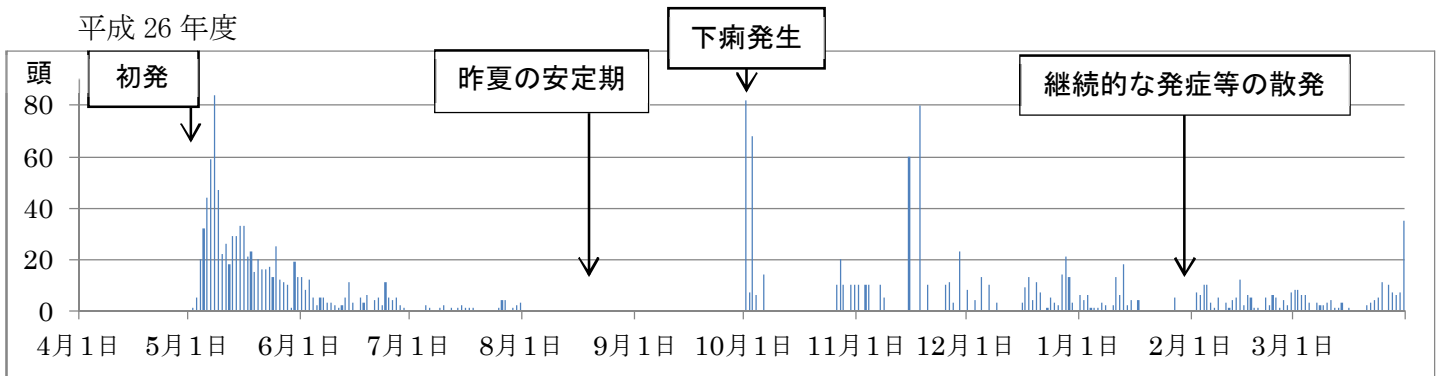
続発農場では昨年 8 月以降 PED は確認されていませんが、初発農場におきましては夏場に一旦は発症が確認されなくなったものの、昨年の秋(10 月)以降 PED による子豚の下痢及び死亡・淘汰が継続していました。

この間、農場ではスリーセブン方式(グループ分娩)に取り組むなど、徹底した防疫対策を実施し、本年につきましても夏場の発症は無く経過していました。しかしながら、今年 10 月に実施した農場内の粉塵や健康な子豚の便の遺伝子検査で PED ウイルスが確認されたため、あらためて発症及びまん延防止対策を徹底してきたところです。

その後、11 月中旬に同一グループ(A グループ)の初産母豚 2 頭の子豚の数頭に下痢が散発したため、11 月 24 日に当該子豚の下痢便を採材し、遺伝子検査を実施したところ PED 陽性を確認しました。

なお、11 月 26 日(木)に当所が農場へ立入り、臨床検査を実施したところ、繁殖豚及び肥育豚には異常は見られず、また A グループ以外の子豚にも異常は確認されていません。

初発農場における発生状況(死亡・淘汰頭数)の推移



問い合わせ先：防 疫 課 宮澤隆、川島大樹 (担当)

